

施策分野評価シート

1 基本目標・施策分野の名称

基本目標	1	誰もが健康ですこやかに暮らせるまち
施策分野	2	疾病の予防・地域医療体制
10年後のめざす姿	休日・夜間診療をはじめ、一次医療と公立福生病院を拠点とした二次医療の病診連携体制が整うとともに、多くの住民が健康診査や検診を受診し、また、感染症予防行動が促され、疾病の予防につながっています。	

2 施策数値指標

指標名	現状値	実績				令和7年度 目標値 (実績値)
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
子どものかかりつけ医師を持つ3歳児の親の割合	72.4% (令和元年度)	84.2% (R3年度)				77.1% ()
胃がん検診受診率(男女計)	12.1% (平成30年度)	10.1% (R3年度)				50%以上 ()
肺がん検診受診率(男女計)	8.9% (平成30年度)	10.5% (R3年度)				50%以上 ()
大腸がん検診受診率(男女計)	32.6% (平成30年度)	29.8% (R3年度)				50%以上 ()
乳がん検診受診率	18.6% (平成30年度)	12.3% (R3年度)				50%以上 ()
子宮頸がん検診受診率	14.9% (平成30年度)	13.0% (R3年度)				50%以上 ()
説明・コメント						-

3 予算・決算の状況

(単位:千円)

予算額					
事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	149,159				
国庫支出金	559				
都支出金	2,401				
地方債及びその他の特定財源	0				
総事業費(計)	152,119	0	0	0	0

(単位:千円)

決算額					
事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	99,694				
国庫支出金	432				
都支出金	4,544				
地方債及びその他の特定財源	0				
総事業費(計)	104,670	0	0	0	0

施策の評価(分析)

施策数値指標:新型コロナウイルス感染拡大の影響により、検診等を受診控えしている可能性は少なからずあり、受診率は減少傾向にある。社会情勢の変化による影響も一因としてあるが、生活習慣病の予防・早期発見につなげるために、検診受診率向上に向け取り組まれない。

4 重点施策			担当課	—
施策		—	基本構想・重視すべき視点	—
年度	【進捗状況】(主な取組等)		【評価・査定】	
令和3年度	—		—	
令和4年度	—		—	
令和5年度	—		—	
令和6年度	—		—	
令和7年度	—		—	

5 個別事務事業概要

(単位:千円)

No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
1	がん検診事業	健康課	33,137	24,696	32,908
事務事業の概要 国の指針に基づき、科学的な根拠に基づいたがん検診を実施することにより、がんの早期発見、早期治療及び、死亡率の減少をはかる。					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
2	健康診査・検診事業	健康課	24,895	20,032	26,219
事務事業の概要 内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)に着目した健康診査を実施することにより、糖尿病等の患者、予備群を減少させる。さらに、町独自の健康診査及び追加項目健診を実施することにより、生活習慣病の予防・早期発見につなげ、長期的には医療費の削減及び健康寿命の延伸を目的とする。					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
3	予防接種事業	健康課	94,087	59,942	69,753
事務事業の概要 予防接種は、各種の感染症に対する免疫を持たない者を対象に行われるもので、感染予防、発病予防、重症化予防、感染症のまん延予防を目的としている。(予防接種法:昭和23年法律第68号)					
合計額			152,119	104,670	128,880